



岐阜北週報

11月

ロータリー財団月間

□題 字	波多野 光裕	□会 長	波多野 光裕	
□例 会	毎週水曜	□副会長	長野 鉄司	2011-2012
□会 場	岐阜都ホテル	□幹 事	松野 秀計	No.1423
		会報委員長	西垣 康紀	11.11.04 発行

前回の記録

第 1422 例会 11/2(水)
 慶祝行事・クラブフォーラム(6)
 演題「変貌するロータリー財団」
 担当：R財団委員会

本日の予定

第 1423 例会 11/9(水)
 卓話(2)
 100万\$
 担当：白木・前田

次回の予定

第 1424 例会 11/16(水)
 卓話(3)
 100万\$
 担当：郷・西垣

会長挨拶 【波多野 光裕 会長】

11月は「ロータリー財団月間」です。ロータリー財団については、本日のクラブフォーラムで行われますので、私からはロータリー財団の歴史について話してみたいと思います。

1905年、ポール・ハリスによって結成された世界初の奉仕クラブが国際ロータリーの起源ですが、ロータリー財団の起源は1917年です。その時の国際ロータリー会長であったクランプさんが、「世界でよいことをするために」基金の設置を提案しました。そして、1928年、5,000米ドルにまで成長したこの基金は、「ロータリー財団」と名づけられ、国際ロータリーから独立した別機関となりました。その2年後、財団は初の補助金500ドルを国際障害児協会へ授与しました。大恐慌と第二次世界大戦により財団の成長は伸び悩んだものの、恒久の世界平和への願いから、戦後、財団への関心はますます高まり、1947年にポール・ハリスが死去した後、財団をさらに大きくするために「ポール・ハリス記念基金」が設置されました。

これと同じ年、最初の財団プログラムが設置されました。今の国際親善奨学金です。そして、1956年から1966年の間に、研究グループ交換(GSE)、技術研修奨学金、活動補助金(後のマッチング・grant)の3つの新しいプログラムが開始されました。1978年には、保健、飢餓追放、人間性尊重(3-H)補助金プログラム、1980年にはロータリー・ボランティア・プログラムが設置されました。

会長挨拶 続き

1984-85年度には、ポリオ・プラスの設置が発表され、その翌年、大学教員のためのロータリー補助金が設けられました。1987-88年度には初の平和フォーラムが開催され、これが財団の平和及び紛争解決研究プログラムの創設のきっかけとなりました。

この流れの中で、財団への支援は飛躍的に増えていき、1917年に26ドル50セントの最初の寄付が贈られて以来、財団には、総額10億ドル以上の寄付が寄せられています。また、ロータリー財団が2017年に創立100周年を迎えることを踏まえ、財団が奉仕の第二世紀に移行するための計画を立てています。これが「未来の夢計画」です。これから、この名称がよく聞かれるようになると思います。

出席報告

会員数：32名
 出席数：28/32
 出席率：87.50%
 欠席者：4名(出席免除2名 93.75%)
 来訪者 地区ロータリー財団委員会
 委員長 渡辺 忠彦
 米山奨学生 金正賢

報告事項 (敬称略)

- 会報広報委員会委員長 西垣 康紀
今週の会報が机の上にお配りできなくて申し訳ありません。委託先のコンピュータの都合によるものです。現時点ではホームページは正常に作動しております。
- 米山奨学金授与 波多野光裕

**幹事報告事項 (敬称略)**

- 幹事 松野秀計
本日定例理事会ですので理事役員の皆様よろしくお願ひします。

ニコニコBOX (敬称略)

- 渡辺忠彦 (地区職業奉仕委員長) (岐阜RC) : 卓話でお伺いしました。よろしくお願ひ申し上げます。
- 小島正三 : 国際ロータリー第2630地区R財団委員長渡辺忠彦様をお迎えして。
- 波多野光裕 : 11月です。
- 長野鉄司 : 10月29日若松学園会長以下みなさんご苦勞様でした。
- 安藤武司 : 若松学園祭では委員長さんお疲れ様でした。
- 岡田忍 : 若松学園の学園祭には多数のメンバーの方にご参加頂きありがとうございます。
- 森本時夫 : 推薦者カードの提出をお待ちしております。
- 竹村博之 : 結婚記念日を祝って頂いてありがとうございます。

慶祝行事 (敬称略)

- 会員誕生日のお祝い
11月28日 小島 正三
- ご夫人誕生日のお祝い
11月 5日 前田 澄子
11月30日 小椋 かつ代
- 結婚記念日のお祝い
11月12日 小島 正三
11月23日 安藤 武司
11月25日 竹村 博之

R財団委員会クラブフォーラム

- 地区ロータリー財団委員会 委員長 渡辺 忠彦
ロータリー財団の重点分野 ロータリー財団の使命はロータリアンが健康状態を改善し教育への支援を高め貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。使命の重点分野は以下の6点が上げられます。ロータリー財団は平和と紛争予防・解決を助長していきます。疾病の原因を減らしその影響を緩和していきます。人々が水と衛生設備を持続的に利用できるようにしていきます。母子の生活を改善していきます。すべての人々のための教育と識字率向上を推進していきます。地域社会とその人々の生活における測定可能な持続的な経済発展を支援していきます。

**次回例会のご案内**

第1424回11月16日(水)
卓話(3)
100万\$
担当: 郷・西垣

会報・広報11月担当 国井 省二